2018 Japan Cup Tasters Championship

ルール規約

VERSION: 2018.5.30

Written and approved by the
SCAJ Technical Standard Committee

2018 ジャパン カップテイスターズ チャンピオンシップ
ルール&レギュレーション

目次

1.0 競技参加条件

1.1 参加資格

1.2 年齢制限

1.3 国籍

1.4 経費

1.5 利害関係

2.0 参加申し込み

2.1 登録フォーム

2.2 申込みの締め切り

3.0 競技者からの質問

4.0 規約

5.0 ルール&レギュレーションの遵守

6.0 競技

7.0 競技の進行

8.0 競技開始前の指示

8.1 競技者のためのオリエンテーション・ミーティング

8.2 時間厳守

9.0 競技時間

9.1 司会者による紹介

9.2 競技開始前

9.3 競技時間の開始

9.4 競技時間の終了

10.0 スコア記録

10.1 JCTC公式スコア記録

11.0 競技者による異議・不服申し立て

11.1 競技者関連の問題

11.2 異議申し立て

11.3 不服申し立て

11.4 SCAJ諮問委員会による異議申し立ての検討

1.0　競技参加条件

日本スペシャルティコーヒー協会（以下、SCAJ）が主催するジャパン カップ テイスターズ チャンピオンシップ（以下、JCTC）は The World Cup Tasters Championship （以下、WCTC)の日本代表選考を兼ねて開催され、大会は当協会が定める JCTC ルール＆レギュレーションに準拠して運営されます。

1.1　参加資格

優勝した場合、日本代表として、同年競技会年度 WCE のワールドカップテイスターズチャンピオンシップに参加できること。

1.2　年齢制限

出場競技者は18歳以上でなければなりません。

1.3　国籍

競技者は、会員区分を問わず日本国籍をお持ちの方、または期間24ヵ月以上の在住証明書、在職証明書、就学証明書を所持している必要があります。こうした書類の証明期間に、国内大会開催の前12ヵ月間がカバーされている必要があります。競技者は、WCE競技年に、1ヵ国のみの代表としてWCTCに参加することができます。

WCE競技年は、ある年のWCEイベント競技会終了時から翌年のWCEイベントの終了時までとします。

1.4　経費

SCAJは、代表を競技会に出場させるために、競技者の航空運賃、宿泊費用を支払うものとします。それ以外の競技に関わる経費は、追加的な旅費と宿泊費、必要品と材料、現地での交通費、追加人員の経費を含め（しかしそれに限定されることなく）、競技者が自費で支払うものとします。WCEは競技者の経費については一切責任を負いません。競技者がこれらの費用を賄えない場合は、費用を支払うスポンサーや第三者を自身でさがしてください。

1.5　利害関係

何らかの利害関係が存在する場合、SCAJでは、競技者、審査員、イベント主催者とも、なるべく早期に、また必ず競技会開始前に、申し出るよう推奨します。これは国内大会でも、世界大会でも同様です。利害衝突の可能性を認定イベント前に申告しなかった場合、競技者の失格や、ガイドラインに従わないイベントとその結果に対するWCE認定取り消しにつながります。

2.0　参加申し込み

2.1　登録フォーム

競技者は、JCTC 競技者登録フォームの必要事項をすべて記載の上、協会ホームページより申し込みを行ってください。正式登録は参加登録料の入金確認をもって登録完了とします。期日までに入金が確認されなかった場合はキャンセル扱いとします。入金期日は登録フォームの入力確認後、ご案内いたします。

2.2　申し込み期間

競技者は、協会ホームページにて定めた期間内に申し込みを行ってください。期間外の登録行為はすべて無効となります。

3.0　競技者からの質問

すべての競技者は、最新の当協会が定める JCTC ルール＆レギュレーションについての幅広い理解をしておくこととします。JCTC ルール＆レギュレーションの理解不足による異議申し立てに対しては、例外措置をとったり便宜をはかったりすることはありません。すべての JCTC 関連書類は、協会ホームページからダウンロードできます。質問がある場合には、SCAJ 事務局宛に E メールで連絡してください。

4.0　規約

競技者は競技者登録フォームを提出した時点で、以下の規約を理解している旨を認めたものとします（JCTC優勝者にかかる代表者としての責任と義務が含まれることにも注意）。

ジャパンカップテイスターズチャンピオンシップ（JCTC）優勝者は、SCAJの代表者となります。

カップテイスターズチャンピオンシップに出場し、優勝する機会を得ることの対価として、競技者は次のことに同意するものとします。

a. SCAJは、プロモーションを目的として、競技者の氏名と画像をいかなる形式であれ、無償で使用することができる。
b. 上記a.の使用に関し、写真、ビデオ、印刷物、インターネット、あらゆる電子メディアが含まれるが、その他いかなる制限もない。
c. 競技者はこの規約を守り、SCAJの高い評判を損なうことなく、積極的に活動する。

5.0　ルール&レギュレーションの遵守

SCAJは一貫してこれらのルール&レギュレーションに従って競技を行います。ルール&レギュレーションの規定をひとつでも破れば、特別な罰則や措置がそこに定められていない限り、競技者は自動的に失格となります。審査員または競技主催者がルールのひとつ以上に違反した場合、競技者は、「競技者による異議・不服申し立て」に記載された手順に従って、異議を申し立てることができます。

6.0　競技

競技の目的は、競技者が味覚と嗅覚を使って、3杯のコーヒーの中から1杯だけ異なるもの(Odd Cup)を識別することです。競技者のコーヒーを識別する能力が試されますが、コーヒーの品質や原産地を鑑別することではありません。

1セットには、3杯のコーヒーが用意され、うち2杯は同一のものです。あとの1杯だけが異なります。競技会では、各競技者には、8セットのコーヒーが供されます。8セットのコーヒーはすべて、全競技者に対して同一です。8セットの中それぞれで、異なる1杯を最も多く識別した競技者が勝者となります。同点の場合（2名以上の競技者が同数正答した場合）、最短時間で識別した者を勝者とします。

A. すべてコーヒーは同程度のローストとし、同じように挽かれています。
B. コーヒーは、競技の必要性に適合した品質のカフェプレス器具で、抽出温度は92℃から96℃とします。コーヒーは、コーヒー54ｇに対して水900mlの割合でつくることができます。
C. 競技に使用するカップは容量125 ml から250mlのものとし、各カップのコーヒー量は75mlから150mlとなります。
D. 国内大会では、使い捨てカップの使用が許可されます。
E. 8セットのコーヒーは、各競技者の前に同時に提供されます。各セットは同一のものでなければなりませんが、各競技者により異なる順序に並べられます。
F. 競技者が競技を行う用意ができたところで、タイムキーパーが合図をします。各セットにおいて全競技者が同時にスタートします。全競技者がテーブルから下がって完了の合図を送るか、または最長8分が経過するか、いずれか早いほうの時点でラウンドが終了となります。ハーフタイムが経過する時点、その後1分毎にタイムキーパーが合図を出します。
G. 各競技者は、競技開始前、テーブルから離れて立ちます。
H. 競技者は、異なる1杯を決定するために、少なくとも3杯のうち2杯でテイスティングを行わなければなりません。
I. 競技者は、識別した異なる1杯を押して他のカップから離し、境界線の向こう側のボックスに置き、明確に元の場所から移動させます。
J. 最多のセットで異なる1杯を正しく識別した者が勝者となります。
   同点の場合は、最短時間で8セットの識別を完了した者を勝者とします。
   同点、同タイムの場合は抽選とします。
K. 競技者はバックステージや準備スペースに近づくことはできません。これに違反した競技者は、イベント主催者の判断で失格となることがあります。

6.0 (Cont.)

L. スポンサーから供給品がある場合、競技者はそれら供給品を使用しなければなりません。スポンサーからの供給品には、スピットカップまたは水容器あるいはその両方が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

競技者は、コーヒーのテイスティングスプーンを自前で持参しなければなりません。SCAJよりスポンサーからの供給品が提供されない場合に限り、競技者には、自前の水容器またはスピットカップあるいはその両方（各1容器、1L以下）の持ち込みが認められます。

a.競技者用の水容器以外は、競技テーブルに置くことはできません。

b.スピットカップに関しては、競技者自身が保持しなければなりません。スピットカップの中身を捨てる必要がある場合に備えて、テーブルの下にバケツが用意されます。

c.競技者がロゴの入った自前のスピットカップおよび水容器を持参する場合は、競技に先立ちSCAJによる承認を受けなければなりなせん。

7.0 競技の進行

A. 競技スペースにはステージがあり、1、2、3、4と番号が付いた競技テーブル4つが置かれます。

B. 競技は予選ラウンド、準決勝ラウンド（競技者12名）、決勝ラウンド（競技者4名）の3ラウンドで構成され、最上位者が次ラウンドに勝ち進みます。イベント主催者の判断により、ラウンド1と準決勝の間に、準々決勝ラウンドが入る場合もあります。

C. JCTCは、1日に1ラウンド以上のスケジュールを組む権利を留保します（したがって、準決勝、決勝が同日に行われる可能性があります）。

D. 各ラウンドの競技者スコアは、次のラウンドには引き継がれません。

E. 各競技者には、8セットの3点試験を行うために8分間が与えられます。

F. 選んだカップは、テーブルの反対側に押し出します。競技者がカップをテーブルから**持ち上げると**、それが最終選定と見做され、そのカップを境界線の反対側にあるセパレートボックスに入れなければなりません。いったん境界線を越えて押し出されたカップをそれ以降動かすことはできません。

G. 競技の順序は、各ラウンドでランダムに決められます。

8.0　競技開始前の指示

8.1 競技者のオリエンテーション・ミーティング

JCTCの開始前に、競技者のオリエンテーション・ミーティングが行われます。これは競技者全員が出席すべきものです。ミーティング中、ステージマネジャーが必要事項を発表し、競技の流れを説明し、競技スケジュールを述べます。競技者に質問があれば、この場でJCTCイベントマネジャーに尋ねることができます。

8.2　時間厳守

競技者は、遅くとも競技時間の30分前までには、準備／練習ルームに入ってください。自分の競技時間開始までに到着していない競技者は、失格となる場合があります

9.0　競技時間

9.1　司会者による紹介

競技時間の開始8分前、カップの準備ができた時点で、司会者が競技者を紹介します。

9.2　競技開始前

競技者は全員、競技テーブルから1メートル以上離れて立ち、競技時間開始までテーブルに近づくことはできません。

9.3　競技時間の開始

司会者は競技者に、4人全員が開始できる状態であるかを尋ねます。定められた競技タイムキーパーは、司会者が開始を告げると同時にストップウォッチ計時を開始します。8分間の競技時間中の時間経過を知るのは競技者の責任ですが、競技者はどの時点でも時間を尋ねることができます。競技タイムキーパーは競技時間の8分間後半に、残り時間4分、3分、2分、1分、30秒を告げます。タイムキーパーは、実際の時間経過に従ってこれらの残り時間警告を出さなくてはなりません。

9.4　競技時間の終了

競技時間は、競技者が手を挙げて終了を宣言した時点で止められます。競技者は、公式タイムキーパーとヘッドジャッジに聞こえるよう、はっきりした合図を送らなければなりません。競技の最大時間は8分間です。

10.0　スコア記録

10.1　JCTC公式スコア記録

JCTCの公式スコア記録者が全スコア管理に責任を負います。スコアはステージ上のホワイトボード上、またはスクリーン等に記録されます。

11.0　競技者による異議・不服申し立て

11.1　競技者関連の問題

11.2　異議申し立て

競技中にJCTCに関して伝えるべき問題や異議があれば、競技者はSCAJに申し出てください。SCAJはその問題がチャンピオンシップ会場で解決できるものか、大会後に書面で不服申し立てすべきものかを判断します。

イベント主催者が問題または異議がJCTC会場で解決できるものと判断すれば、SCAJは当時者に連絡し、公正な態度を取るよう求めます。競技者の問題や異議の内容について話し合いが行われ、SCAJと競技運営委員会が協議の上結論を出します。SCAJが決定を競技者に伝えます。

11.3　不服申し立て

競技者にその場で解決できない異議があり、会場で下された判断に不服を申し立てたい場合、イベントマネジャーは競技者に対し、書面による公式の不服申し立てをSCAJに提出するよう求めます。SCAJによる決定が最終判断となります。

不服申し立てには以下を必ず明記してください。

1)　競技者名
2)　年月日
3)　申し立てる異議について簡潔に記載
4)　年月日と時刻の情報（該当すれば）
5)　競技者の意見と、解決方法の提案
6)　当該の出来事に関与した者
7)　競技者の連絡先

以上の情報を含まない不服申し立て書類は、無効となります。

競技者は書面による不服申し立てを電子メールで（info@scaj.org）問題の出来事あるいは示された判断から24時間以内にJCTCイベントマネジャーに提出してください。

11.4　SCAJ諮問委員会による不服申し立ての検討

SCAJ諮問委員会は異議・不服申し立て書類を受領から30日以内に検討します。SCAJ諮問委員会委員長は、競技者に電子メールで最終決定を伝えます。